

平成18年社会生活基本調査 詳細行動分類による生活時間に関する結果

平成18年に実施した社会生活基本調査の詳細行動分類による生活時間に関する結果が平成19年12月21日に公表されましたので、その要約を掲載します。

なお、詳しくは総務省統計局ホームページ、社会生活基本調査をご覧ください。

<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2006/index.htm>

1 大分類にみた生活時間の配分

○ 「有償労働」時間は男性が2時間48分長く、「無償労働」時間は女性が3時間10分長い

(「結果の概要」2頁参照)

・平成13年と比べると、「有償労働」時間及び「自由時間」は増加、「無償労働」時間及び「学業、学習・研究」時間は減少。

・「有償労働」時間は男性が2時間48分長く、「無償労働」時間は女性が3時間10分長い。

表1 男女、行動の種類別総平均時間(平成13年、18年) 一週全体

(時間.分)

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
有償労働	4.11	4.16	0.05	5.41	5.42	0.01	2.47	2.54	0.07	2.48
無償労働	2.53	2.46	-0.07	1.12	1.08	-0.04	4.29	4.18	-0.11	-3.10
学業、学習・研究	1.05	0.59	-0.06	1.10	1.04	-0.06	1.01	0.54	-0.07	0.10
個人的ケア	11.04	11.03	-0.01	11.00	10.57	-0.03	11.07	11.08	0.01	-0.11
自由時間	4.16	4.27	0.11	4.27	4.37	0.10	4.05	4.16	0.11	0.21
その他	0.31	0.30	-0.01	0.31	0.31	0.00	0.31	0.29	-0.02	0.02

注)平成13年は「アンペイドワーク等に係る特別集計結果」

●社会生活基本調査とは

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的とし、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施している。

平成18年調査は調査票A及び調査票Bを用いて実施し、今回公表する結果は、このうち、調査票B(アフターコード方式^{*1})での詳細行動分類による生活時間の配分に関する結果であり、全国の世帯から無作為に選定した約4千世帯にふだん住んでいる10歳以上の世帯員を対象としたものである。

なお、調査票Aでの自由時間等における主な活動に関する結果は7月9日に公表し、調査票Aでの生活時間の配分に関する結果(全20区分のプリコード方式^{*2})による行動分類)は9月28日に公表した。

*1) 調査票に記入者自身が個々の行動を日誌のように記入し、集計の段階で行動分類に対応させる方式

*2) 調査票にあらかじめ記載された行動分類を記入者自身が選択する方式

●用語

有償労働……………収入を目的とする仕事。通勤を含む。

無償労働……………家事、育児、ボランティア活動など収入を目的としない仕事。

学業、学習・研究…学校で行う学業や自由時間に行う学業、学習・研究。通学を含む。

個人的ケア……………睡眠、入浴、食事など生理的に必要な活動、身体のケア及び食事に関する行動。

自由時間……………交際、趣味、スポーツ、テレビなど各人が自由に使える時間における行動。

その他……………上記以外の行動。

総平均時間……………該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均時間

行動者平均時間…該当する種類の行動をした人のみについての平均時間

行動者率……………該当する種類の行動をした人の割合(%)

2 有償労働

○ 副業をした人の割合は土曜日が高い

(「結果の概要」4頁参照)

・有業者(15歳以上)のうち、調査日に「副業関連」¹⁾をした人の割合(行動者率)は土曜日が1.7%で最も高く、その時間(行動者平均時間)も3時間55分で最も長い。

表2 男女、曜日別「副業関連」の総平均時間、行動者平均時間及び行動者率(平成13年、18年)－有業者

		総数			男			女		
		総平均 時間	行動者 平均時間	行動者 率	総平均 時間	行動者 平均時間	行動者 率	総平均 時間	行動者 平均時間	行動者 率
平成 13 年	平日	0.03	3.15	1.5	0.03	3.51	1.3	0.03	2.55	1.9
	土曜日	0.03	3.19	1.5	0.03	3.40	1.3	0.03	2.57	1.8
	日曜日	0.05	3.57	1.9	0.04	4.13	1.7	0.05	3.41	2.2
平成 18 年	平日	0.02	3.07	1.2	0.02	3.35	1.1	0.02	2.32	1.3
	土曜日	0.04	3.55	1.7	0.04	4.16	1.4	0.05	3.38	2.2
	日曜日	0.03	3.46	1.4	0.03	3.34	1.4	0.03	4.02	1.4
増 減	平日	-0.01	-0.08	-0.3	-0.01	-0.16	-0.2	-0.01	-0.23	-0.6
	土曜日	0.01	0.36	0.2	0.01	0.36	0.1	0.02	0.41	0.4
	日曜日	-0.02	-0.11	-0.5	-0.01	-0.39	-0.3	-0.02	0.21	-0.8

注) 平成13年は「アンペイドワーク等に係る特別集計結果」

3 無償労働

○ 女性は炊事などの「食事の管理」の時間が「家事」時間の約半分を占める

(「結果の概要」5頁参照)

・「家事」に費やす時間が最も長いのは、男性が炊事などの「食事の管理」、 「園芸」及び掃除などの「住まいの手入れ・整理」で、女性が「食事の管理」。

・女性は「食事の管理」の時間が「家事」時間全体の約半分を占める。

表3 男女、行動の種類(家事)別総平均時間、行動者平均時間及び行動者率－週全体

		総数			男			女		
		総平均 時間	行動者 平均時間	行動者 率	総平均 時間	行動者 平均時間	行動者 率	総平均 時間	行動者 平均時間	行動者 率
家事		1.50	3.08	58.8	0.34	1.43	33.1	3.02	3.39	83.2
食事の管理		0.52	1.51	46.8	0.09	0.58	15.8	1.32	2.01	76.2
菓子作り		0.00	1.03	0.2	0.00	0.44	0.0	0.00	1.06	0.3
園芸		0.10	1.45	9.3	0.09	2.02	7.5	0.10	1.34	11.1
住まいの手入れ・整理		0.25	1.08	37.1	0.09	0.56	16.7	0.40	1.11	56.4
衣類等の手入れ		0.17	0.55	30.5	0.02	0.40	6.0	0.31	0.57	53.9
衣類等の作製		0.01	2.01	0.9	0.00	0.50	0.0	0.02	2.03	1.7
建築・修繕		0.01	1.54	0.5	0.01	1.43	0.8	0.00	1.57	0.3
乗り物の手入れ		0.00	1.01	0.7	0.01	1.02	1.2	0.00	0.55	0.2
世帯管理		0.01	1.04	2.2	0.01	1.13	1.4	0.02	1.00	2.9
乳幼児以外の家族の介護・看護		0.02	1.50	1.9	0.01	1.38	1.1	0.03	1.54	2.6
家族の身の回りの世話		0.01	0.32	2.7	0.00	0.33	0.3	0.02	0.32	4.9
その他の家事		0.00	1.04	0.1	0.00	1.37	0.1	0.00	0.32	0.1

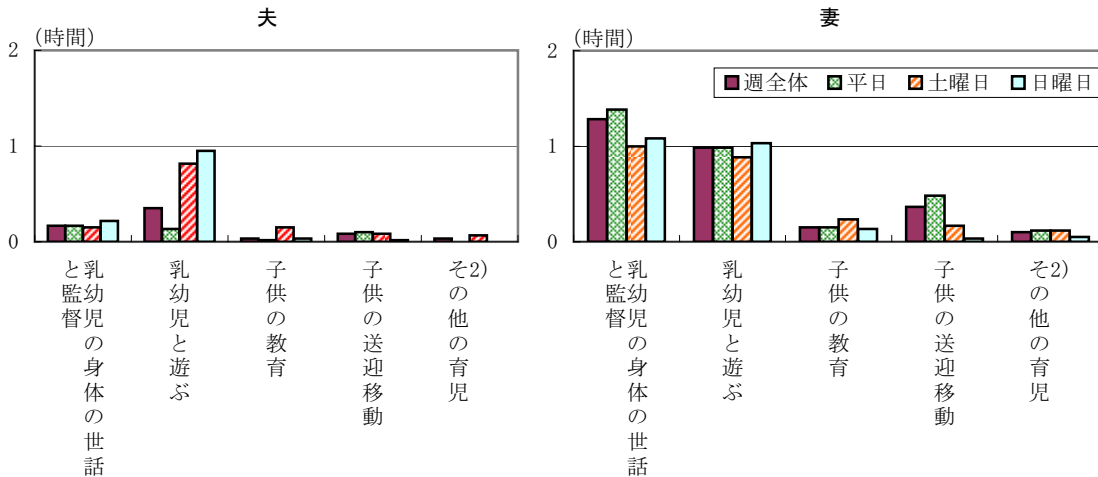
1) 「副業」及び「副業中の移動」をいう。

○ 6歳未満の子供がいる父親は「育児」時間のうち「乳幼児と遊ぶ」時間が最も長い

(「結果の概要」6頁参照)

- ・夫婦と子供の世帯(末子が6歳未満)の夫(父)と妻(母)の「育児」時間は、夫が39分、妻が2時間54分。
- ・「育児」に費やす時間が最も長いのは、夫(父)が「乳幼児と遊ぶ」、妻(母)が「乳幼児の身体の世話と監督」。

図1 曜日、行動の種類(育児)別総平均時間—夫婦と子供の世帯(末子が6歳未満)の夫・妻



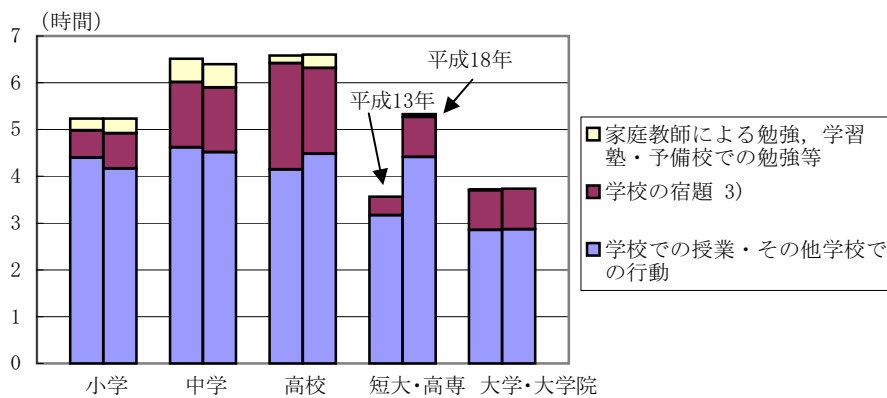
4 学業, 学習・研究

○ 「学校での授業・その他学校での行動」の時間は小学生及び中学生は減少

(「結果の概要」7頁参照)

- ・平成13年と比べると、在学者(10歳以上)の「学校での授業・その他学校での行動」の時間は、高校生、短大・高専生などは増加、小学生及び中学生は減少。

図2 在学する学校の種類、行動の種類(「学校での学習(学業)中の休憩」, 「通学」を除く「学業」)別総平均時間(平成13年, 18年)—週全体, 在学者



2) 「乳幼児の介護・看護」及び「子供の付き添い等」を合わせたもの。
 3) 予習・復習を含む。

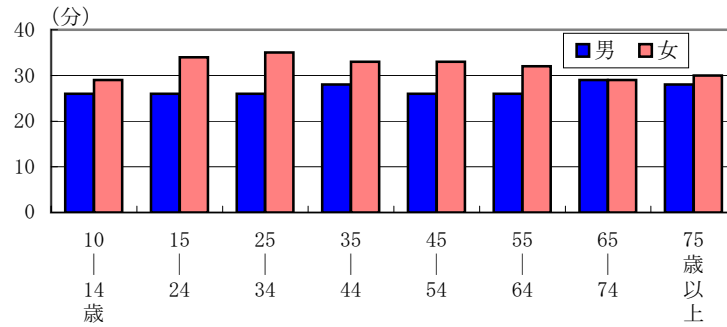
5 個人的ケア

○ 「入浴」時間は女性が男性より5分長い

(「結果の概要」9頁参照)

- ・「入浴」時間は男性が27分、女性が32分。
- ・「入浴」時間が最も長い年齢階級は、男性が65～74歳、女性が25～34歳。

図3 男女、年齢階級別「入浴」の総平均時間一週全体

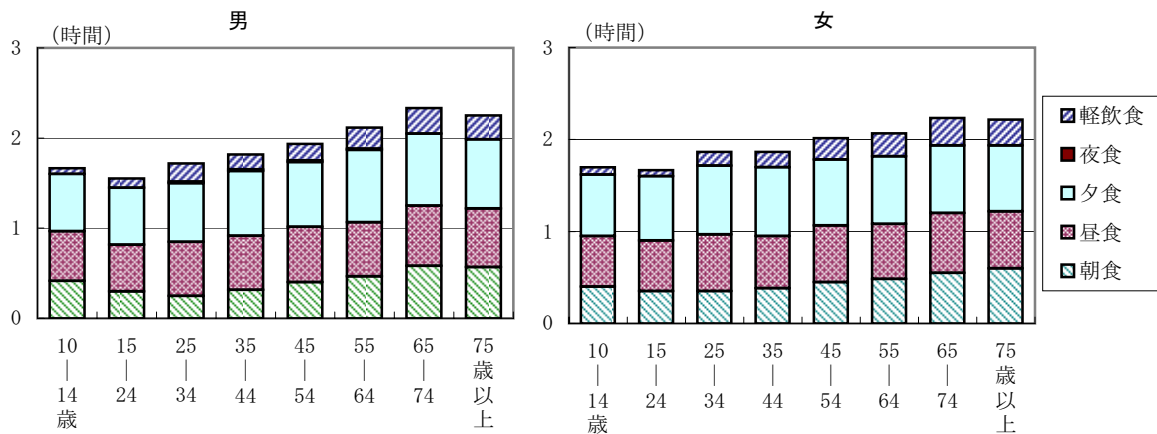


○ 「食事」にかける時間は「朝食」が25分、「昼食」が36分、「夕食」が43分

(「結果の概要」10頁参照)

- ・「食事」時間は1時間57分で、そのうち「朝食」が25分、「昼食」が36分、「夕食」が43分。
- ・「食事」時間は男女共に年齢階級が高くなるほど長くなる傾向。

図4 男女、年齢階級、行動の種類(食事)別総平均時間一週全体



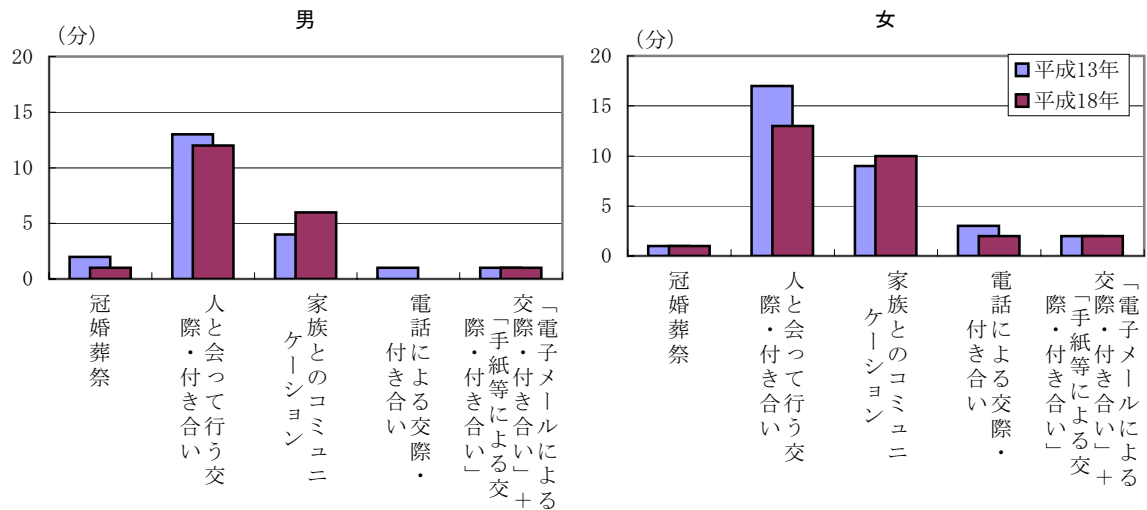
6 自由時間

○ 男女共に「人と会って行う交際・付き合い」の時間は減少、「家族とのコミュニケーション」の時間は増加

(「結果の概要」12頁参照)

- ・「人と会って行う交際・付き合い」の時間は男性が12分、女性が13分で、「家族とのコミュニケーション」の時間は男性が6分、女性が10分。
- ・平成13年と比べると、男女共に「人と会って行う交際・付き合い」の時間は減少、「家族とのコミュニケーション」の時間は増加。

図5 男女、行動の種類(交際)別総平均時間(平成13年, 18年)一週全体



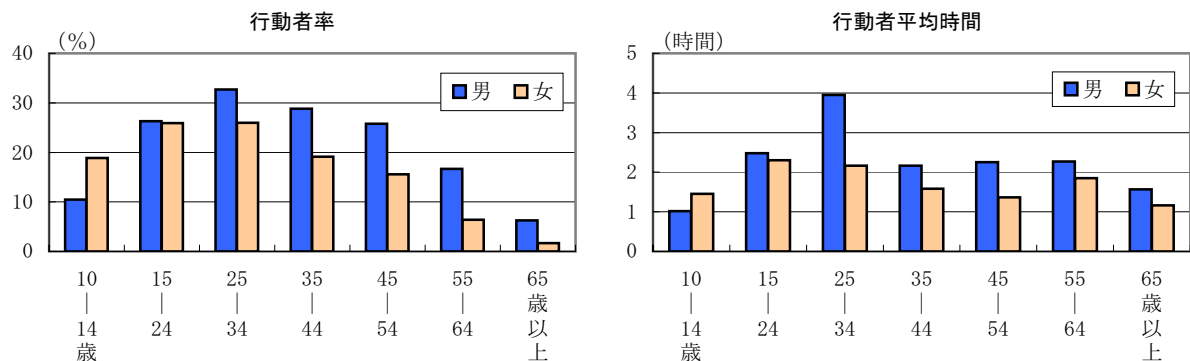
7 インターネットの利用

○ 男性は25~34歳、女性は15~24歳で最も長いインターネットの利用時間

(「結果の概要」14頁参照)

- ・10歳以上の人がインターネットを利用した時間(総平均時間)は25分。
- ・インターネットの利用の行動者率が最も高い年齢階級は、男女共に25~34歳。
- ・インターネットの利用の行動者平均時間が最も長い年齢階級は、男性が25~34歳、女性が15~24歳。

図6 男女、年齢階級別インターネットの利用の行動者率及び行動者平均時間一週全体



8 行動の場所

○ 自宅にいた時間が最も短いのは男性が25～34歳，女性が15～24歳

(「結果の概要」16頁参照)

- ・10歳以上の方が自宅にいた時間は16時間9分で，男性は14時間46分，女性は17時間27分。
- ・自宅にいた時間が最も短い年齢階級は，男性が25～34歳，女性が15～24歳。

表4 男女，年齢階級別自宅にいた総平均時間一週全体

(時間. 分)

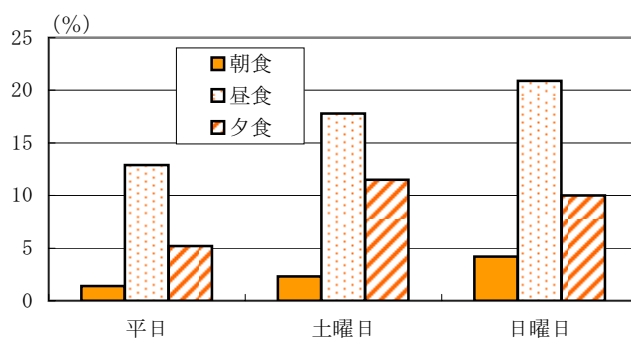
	総数	男	女	男女差
総数	16.09	14.46	17.27	-2.41
10～14歳	14.56	14.33	15.21	-0.48
15～24歳	14.26	14.31	14.21	0.10
25～34歳	14.12	12.38	15.47	-3.09
35～44歳	14.40	12.39	16.43	-4.04
45～54歳	15.20	13.19	17.21	-4.02
55～64歳	16.45	15.20	18.05	-2.45
65～74歳	19.11	18.11	20.03	-1.52
75歳以上	20.42	20.19	20.57	-0.38

○ 自宅などを除く「その他」の場所で食事をした人の割合は，「昼食」は日曜日が高く，「夕食」は土曜日が高い

(「結果の概要」18頁参照)

- ・自宅などを除く「その他」⁴⁾の場所で食事をした人の割合(行動者率)は，「昼食」は日曜日が最も高く，「夕食」は土曜日が最も高い。

図7 行動の種類(夜食，軽飲食を除く食事)，曜日別「その他」の場所にいた行動者率



4) 自宅，学校・職場及び移動中以外の場所をいう。

9 一緒にいた人

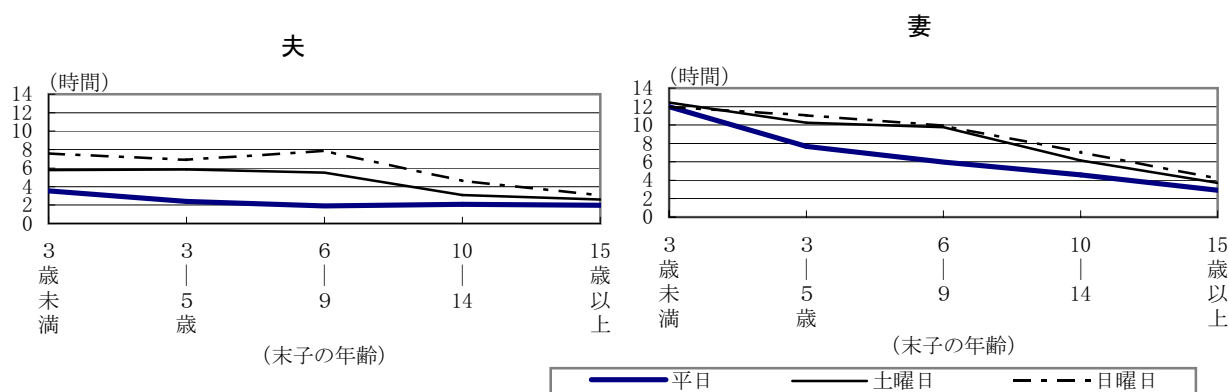
○ 平日に子供と一緒にいた時間は父親が2時間16分、母親が5時間38分

(「結果の概要」19頁参照)

・子供のいる世帯の夫(父)と妻(母)⁵⁾について、平日に子供と一緒にいた時間(睡眠、うたたね中を除く。)は、夫が2時間16分、妻が5時間38分。

・夫も妻も末子の年齢階級が高くなるほど子供と一緒にいる時間が短くなる傾向。

図8 曜日、末子の年齢階級別子供と一緒にいた総平均時間—子供のいる世帯の夫・妻



○ 平日の「夕食」時間に父親と一緒にいた子供(10~14歳)は41.1%

(「結果の概要」20頁参照)

・「夕食」時間に父と一緒にいた子供(10~14歳)は、平日が41.1%、土曜日が47.1%、日曜日が62.0%。

表5 行動の種類(夜食、軽飲食を除く食事)、曜日別父母と一緒にいた行動者率—10~14歳

	(%)					
	平日		土曜日		日曜日	
	父	母	父	母	父	母
食事	56.2	91.8	62.6	90.4	72.3	91.3
朝食	32.8	76.6	33.8	61.2	33.1	60.1
昼食	0.3	2.5	26.0	51.1	31.9	52.0
夕食	41.1	82.5	47.1	71.2	62.0	80.8

注) 「一緒にいた人」は複数回答及び不詳あり。

5) 「夫婦と子供の世帯」、「夫婦、子供と両親の世帯」及び「夫婦、子供とひとり親の世帯」の夫・妻。

10 同時行動

○ 「テレビ」を見ながら「夕食」をとった人の割合は21.4%

(「結果の概要」21頁参照)

- ・同時行動⁶⁾を伴った割合(行動者率)の高い主行動を小分類別にみると、「夕食」が24.5%と最も高く、次いで「朝食」が21.5%、「食事の管理」が15.5%などとなっている。
- ・同時行動を種類別にみると、主行動が「夕食」で同時行動が「テレビ」を見ていた人の割合(行動者率)は21.4%で最も高い。

表6 行動の種類, 同時行動を伴うか否か別総平均時間及び行動者率一週全体

主行動	総平均時間(時間.分)		行動者率(%)			
	総数	同時行動を伴う時間	総数	同時行動を伴う行動者率	同時行動の種類 (括弧内は行動者率)	
					1位	2位
有償労働	4.16	0.06	46.5	6.1		
無償労働	2.46	0.13	67.0	22.2		
食事の管理	0.52	0.07	46.8	15.5	テレビ (9.2)	衣類等の手入れ (3.4)
学業, 学習・研究	0.59	0.01	14.0	1.8		
個人的ケア	11.03	0.24	100.0	43.4		
身の回りの用事(自分自身や家族等が行うもの)	0.33	0.03	83.6	10.8	テレビ (6.5)	衣類等の手入れ (1.2)
朝食	0.25	0.05	82.4	21.5	テレビ (16.6)	新聞・雑誌 (2.3)
昼食	0.36	0.04	87.5	13.7	テレビ (10.9)	新聞・雑誌 (0.7)
夕食	0.43	0.09	93.3	24.5	テレビ (21.4)	家族とのコミュニケーション (1.3)
自由時間	4.27	0.16	94.3	25.4		
テレビ	2.17	0.08	80.5	14.2	新聞・雑誌 (4.0)	軽飲食 (2.1)
その他	0.30	0.01	38.6	3.4		

注) 行動の種類について、大分類及び小分類を掲載。ただし小分類は同時行動を伴う行動者率が10%以上の行動を掲載。

6) 主にしていた行動(主行動)の他に、同時にしていた行動をいう。